

スポーツサポートコース（コーチ / 指導者）履修モデル

スポーツサポートコース（コーチ / 指導者）で育成を目指す人材像

コーチや指導者として、競技者の競技力を高めるための効率的なトレーニング方法を提示することができ、そこに内在する指導の様々なコツなど、指導をする際に必要な運動促発能力を備え、競技スポーツの指導を行う際に起こる様々な課題、問題に対し柔軟に対応できる人材。

	1年	2年	3年	4年
総合教育科目	◎自主創造の基礎（前） ◎コンピュータ・情報リテラシー（前） ◎スポーツ講義（後） ◎スポーツ実技1（前） ○英語I（前） ○英語II（前） ○英語III（後） ○英語IV（後）	○英語V（前） ○英語VI（前） ○英語VII（後） ○英語VIII（後）	哲学1,2 論理学1,2 倫理学1,2 宗教学1,2 文学1,2 文章表現1,2 歴史学1,2 近代史1,2 科学技術史1,2 地理学1,2 文化人類学1,2 心理学1,2 社会学1,2 教育学1,2 経済学1,2 政治学1,2 生活と法 数学1,2 統計学1,2 地球科学1,2 健康の科学1,2 救急処置法 教養特殊講義1～6 の中から16単位	
実習科目	競技スポーツ実習I（前） 競技スポーツ実習II（後） 競技スポーツ習得実習I（前） 競技スポーツ習得実習II（後）	競技スポーツ実習III（前） 競技スポーツ実習IV（後） 競技スポーツ習得実習III（前） 競技スポーツ習得実習IV（後） 競技スポーツ方法実習I（前） 競技スポーツ方法実習II（後）	競技スポーツ方法実習III（前） 競技スポーツ方法実習IV（後）	
専門基礎科目	◎競技スポーツ原論（前） ◎トレーニング学原論（後）	◎コーチング学原論（前） ◎スポーツ運動学原論（後） スポーツ生理学の基礎（前） スポーツ医学の基礎（前） 機能解剖学の基礎（前） スポーツ栄養学の基礎（後） コーチングのための健康管理の基礎（後） バイオメカニクスの基礎（後）		
専門共通科目	スポーツ観察演習I（前） スポーツ観察演習II（後）	◎コーチング学研究法演習（後） オリンピック・パラリンピック論（前） スポーツ生化学（前） スポーツ観察演習III（前） スポーツ観察演習IV（後） トレーニング計画論（前） コーチング基礎演習I（前） コーチング基礎演習II（後） スポーツキャリアデザインI（前）	スポーツ生理学演習（前） スポーツ運動学演習（前） スポーツ医学演習（後） トレーニング計画論演習（前） コーチング実践演習I（前・集中） コーチング実践演習II（後・集中） スポーツキャリアデザインII（後）	コーチング統合演習I（前） コーチング統合演習II（後）
専門コース科目		アスレチックリハビリテーション（前） チームマネジメント論（後）	アスレチックリハビリテーション演習（前） コーチングのための栄養学（後） スポーツマネジメント演習I（前） スポーツマネジメント演習II（後） チームマネジメント論演習（前）	
ゼミナール・卒演・卒研・卒論			ゼミナールI（前） ゼミナールII（後）	卒業研究（通）

※1 科目名の前に付記されている記号で、◎は必修科目、○は選択必修科目を表す。

※2 卒業要件に必要な最低限の修得単位数を前提とした履修モデルである。

※3 資格取得（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者免除適応コースなど）関連科目については、別に定める科目一覧を参照のこと。

スポーツサポートコース（チームマネジメント）履修モデル

スポーツサポートコース（チームマネジメント）で育成を目指す人材像

競技力の高い競技者育成を目指す競技団体や都道府県に設置されているスポーツ振興部署、スポーツ関連企業などにおいて、制度・行政面からの施策の提言や強化育成事業などの運営（マネジメント）を展開できる能力を備え、競技スポーツに関する諸問題（課題）に柔軟に対応できる人材。

	1年	2年	3年	4年	
総合教育科目	<ul style="list-style-type: none"> ◎自主創造の基礎（前） ◎コンピュータ・情報リテラシー（前） ◎スポーツ講義（後） ◎スポーツ実技1（前） ○英語I（前） ○英語II（前） ○英語III（後） ○英語IV（後） 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語V（前） ○英語VI（前） ○英語VII（後） ○英語VIII（後） 	哲学1,2 論理学1,2 倫理学1,2 宗教学1,2 文学1,2 文章表現1,2 歴史学1,2 近代史1,2 科学技術史1,2 地理学1,2 文化人類学1,2 心理学1,2 社会学1,2 教育学1,2 経済学1,2 政治学1,2 生活と法 数学1,2 統計学1,2 地球科学1,2 健康の科学1,2 救急処置法 教養特殊講義1～6 の中から16単位		
実習科目	<ul style="list-style-type: none"> 競技スポーツ実習I（前） 競技スポーツ実習II（後） 競技スポーツ習得実習I（前） 競技スポーツ習得実習II（後） 	<ul style="list-style-type: none"> 競技スポーツ実習III（前） 競技スポーツ実習IV（後） 競技スポーツ習得実習III（前） 競技スポーツ習得実習IV（後） 競技スポーツ方法実習I（前） 競技スポーツ方法実習II（後） 	<ul style="list-style-type: none"> 競技スポーツ方法実習III（前） 競技スポーツ方法実習IV（後） 		
専門基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> ◎競技スポーツ原論（前） ◎トレーニング学原論（後） スポーツの法と倫理（前） 近代スポーツ史（後） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎コーチング学原論（前） ◎スポーツ運動学原論（後） コーチングのための健康管理の基礎（後） スポーツ生理学の基礎（前） スポーツ医学の基礎（前） 機能解剖学の基礎（前） スポーツ栄養学の基礎（後） バイオメカニクスの基礎（後） スポーツ社会学の基礎（後） 			
専門共通科目	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ観察演習I（前） スポーツ観察演習II（後） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎コーチング学研究法演習（後） アダプテッド・スポーツ（後） スポーツマーケティング論（前） スポーツビジネス論（後） スポーツキャリアデザインI（前） 	<ul style="list-style-type: none"> タレントの発掘と育成（前） スポーツビジネス論演習（前） アダプテッド・スポーツ演習（後） スポーツとメディア（後） スポーツ・インターンシップ1（集中） スポーツ・インターンシップ2（集中） スポーツキャリアデザインII（前） 		
専門コース科目		<ul style="list-style-type: none"> スポーツ測定評価（前） チームマネジメント論（後） スポーツ制度・行政（前） スポーツ経営管理（後） 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ測定評価演習（前） チームマネジメント論演習（後） スポーツマネジメント演習I（前） スポーツマネジメント演習II（後） 		
ゼミナール・卒演・卒研・卒論			<ul style="list-style-type: none"> ゼミナールI（前） ゼミナールII（後） 	卒業論文（通）	

※1 科目名の前に付記されている記号で、◎は必修科目、○は選択必修科目を表す。

※2 卒業要件に必要な最低限の修得単位数を前提とした履修モデルである。

※3 資格取得（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者免除適応コースなど）関連科目については、別に定める科目一覧を参照のこと。